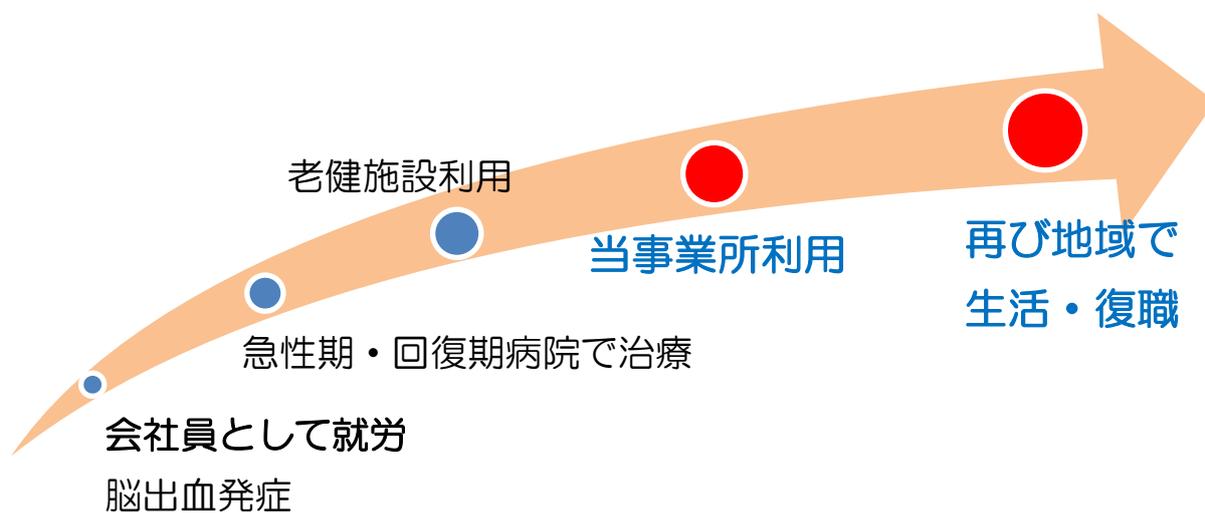


七沢更生ライトホームの支援の一例ご紹介

～再び地域に戻り、復職された福島さん～



利用開始当初

車椅子の利用は必要でしたが入浴以外の日常生活動作はほぼ自立されていました。環境に慣れるまでは定時薬やスケジュール管理で混乱される場面あったため支援を行ないました。

機能回復訓練として理学療法・作業療法を、失語の訓練に言語療法士が行う言語訓練と、同じ失語症を持つ方々と共にコミュニケーション・スキルを高めるグループ訓練にも参加しました。また再び地域で生活する為に『社会参加のための基礎セミナー』などのプログラムにも参加しました。



コミュニケーショングループで、同じ失語症の仲間とコミュニケーション力を高める



支援するなかで

歩行が安定したことで自主的にトレーニングできるようになり、『一般交通機関利用訓練』を活用することで単独外出も可能になりました。また『単身生活グループ』『調理訓練』『電子レンジ調理グループ訓練』などの**更生ライトホーム・オリジナルの所内訓練**も行い、最終的には『自立実習棟訓練』という一戸建てを利用し

た宿泊体験を行ったことで、ヘルパーの活用方法も含めた単身生活について具体的にイメージできるようになりました。日中活動の場については職能科の協力を得ながら会社との調整を進め、身体の状態に合わせた雇用形態、業務内容で再び働くことが出来るようになりました。



グループ OT

片手でゴミ袋を結ぶ方法に挑戦中！

衣類たたみに挑戦！

乗降訓練で職場までの
通勤を練習

そして復職

住居探しと住環境調整の支援、復職に向けた会社訪問と通勤経路確認等を行い、更に安心して地域生活が続けられるように地域包括支援センター、障害者相談支援事業所などとネットワークを作ることで、生き生きと生活をされています。



さあ、これから会社へ！
玄関に椅子を置いたので、楽に靴が履けます

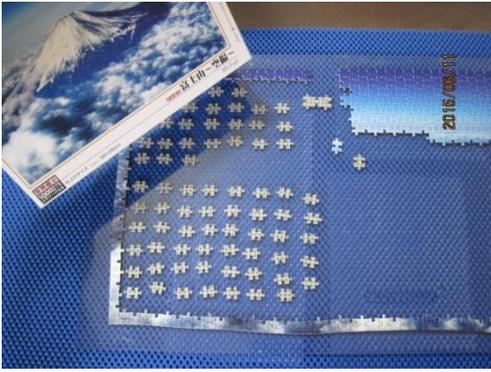


通勤は電車も使います
駅の階段歩行は何回も練習しました！



作業着に着替えたら
昼間の顔に！





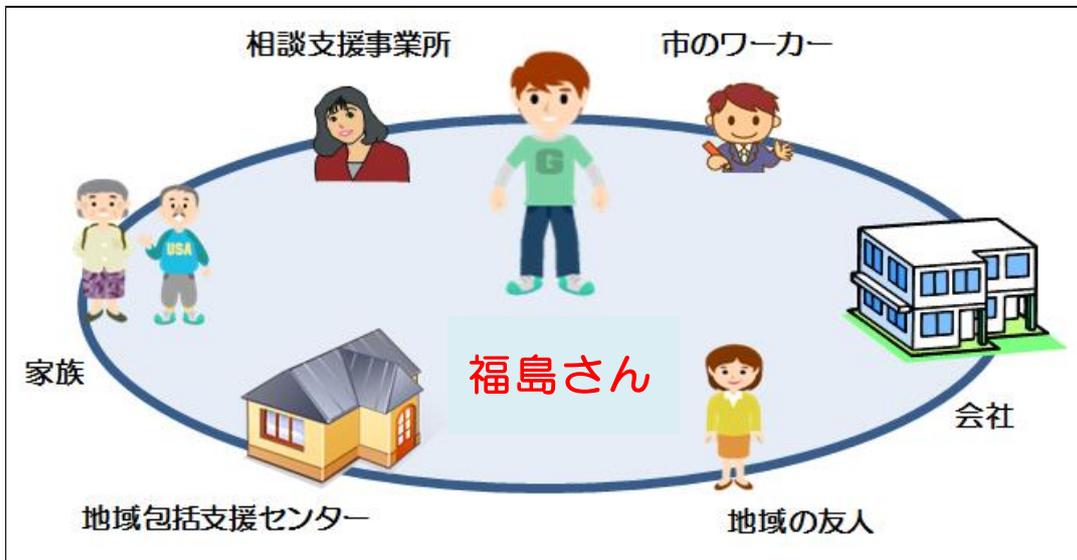
リハビリも兼ねたジグソーパズル
どんどん難しいレベルに挑戦中！



週末はいつもの映画館で映画鑑賞
パンフレットもこんなに集まりました！



地域の応援団



福島さんからひとこと

突然病気になり、これから先の生活をどうしていったら良いのかわかりませんでした。そんな時に家族の勧めもあって更生ライトホームを利用しました。訓練を積み重ねることのできるが増えていき、自分に合った生活について少しずつ考えることができるようになりました。

住みなれた地元で、会社に戻って（以前とは違う仕事内容にはなりましたが）働いていること、趣味も楽しむことができている現在の生活は、自分なりに納得できています。

現在の生活を作る上で、家族の協力と更生ライトホームの支援はとても重要でした。利用して良かったと思っています。



更生ライトホーム OB として
利用者さんへの体験談も引き受けて
いただいています